

承認番号： NDU-T2015-28

研究課題名： 口腔内幹細胞を用いた組織再生能の解析

主任研究者（所属・職位・氏名）：薬理学講座・教授・筒井健夫

分担研究者（所属・職位・氏名）：発生・再生医科学講座・教授・中原 貴

生理学講座・教授・佐伯周子

発生・再生医科学講座・講師・小林朋子

薬理学講座・講師・鳥居大祐

生理学講座・講師・井出良治

共同利用研究センター・教授・那須優則

共同利用研究センター・講師・堀江哲郎

共同利用研究センター・技術職員・片柳亮太

共同利用研究センター・助教・三橋扶佐子

口腔外科学講座・教授・里見貴史

口腔外科学講座・助教・米山勇哉

外科学講座・教授・櫻井健一

口腔外科学講座・講師・小林真左子

薬理学講座・准教授・肖 黎

口腔外科学講座・大学院生・宮坂直樹

薬理学講座・講師・神 唯

学外

東京慈恵会医科大学 分子生物学講座・講師・村井
法之

京都大学霊長類研究所 人類進化モデルセンター・
准教授・鈴木樹理

国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構

量子ビーム科学研究部門高崎量子応用研究所 先端
機能材料研究部 プロジェクト「生体適合性材料研究」
・上席研究員・田口光正

量子ビーム科学研究部門高崎量子応用研究所 先端
機能材料研究部 プロジェクト「生体適合性材料研究」
・主幹研究員・木村 敦

量子ビーム科学研究部門高崎量子応用研究所 先端
機能材料研究部 プロジェクト「生体適合性材料研究」
・主任研究員・大山智子

量子ビーム科学研究部門高崎量子応用研究所 先端
機能材料研究部 プロジェクト「生体適合性材料研究」
・主任研究員・大山廣太郎

東京医科大学・客員教授・工藤佳久

国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構

量子生命科学領域・統括グループリーダー・横山明
徳

1. 研究概要

- 1) 研究の意義：幹細胞と周囲組織における相互作用の、分子生物学的機構を解明し歯科再生医療においてより安全で適正な治療を行う。
- 2) 研究の目的：口腔内幹細胞を用いて分子生物学的視点より *in vivo* と *in vitro* における幹細胞と周囲組織との相互作用を解析し組織再生を賦活化する方法の開発を行い、新たな治療法へと発展させ、国民の生活向上に貢献することを目指す。

2. 研究方法

- 1) 研究対象者： 研究期間に当院で抜歯が行われた方
- 2) 研究期間： 令和元年 5月23日から令和 5年 5月22日まで
- 3) 方法： 抜歯治療で摘出された組織を所定の容器に入れ搬送し、本研究に使用する。

研究実施場所を下記に記載

In vivo と *in vitro* の実験と解析は日本歯科大学生命歯学部薬理学講座、日本歯科大学生命歯学部発生・再生医科学講座、日本歯科大学生命歯学部生理学講座、日本歯科大学生命歯学部口腔外科学講座、日本歯科大学生命歯学部外科学講座、日本歯科大学生命歯学部薬理学・生理学実習室、共同利用研究センター、東京医科大学八王子医療センター 共同研究施設、国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構 量子医療・医学部門放射線医学総合研究所、国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構 高崎量子応用研究所にて行う。分子生物学的解析と実験結果の解析を米国国立衛生研究所(NIH)、ノバルティス（米国）と京都大学霊長類研究所、東京慈恵会医科大学、国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構 高崎量子応用研究所、国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構 量子生命科学領域にて行う。試料の移送・輸出・取扱については必要な手続きを経てから行う。米国における承認が必要な際は、承認の締結後に行う。

- 4) 使用する試料・情報の項目：抜歯治療で摘出した組織
- 5) 情報の管理方法と保護：試料には研究用に改めた符号を付け管理する。提供者の試料であることがわかるような個人識別情報とは切り離

して厳重に保管する。また、試料にかかる個人情報を匿名化し連結可能とする。そのため連結用の対応表は薬理学講座にて主任研究者が施錠保管する。

3. 研究に関する問い合わせ・連絡先

氏 名：筒井健夫

所 属：日本歯科大学 生命歯学部 薬理学講座

住 所：〒102-8159 東京都千代田区富士見 1-9-20

連絡先：03-3261-8311